

もくさくえき

木酢液とは、炭焼きの煙を冷やして得られる、木材が焦げたような臭いのする液体です。ホームセンター等の園芸用品を取り扱うお店で販売される事が多く、生ごみの消臭、害虫や猫、キツネ等の動物の忌避効果があるとされています。

使用方法

動物の忌避剤として木酢液を使用する際の使用方法を3つご紹介します。以下の注意点をよく読んでから使用してください。

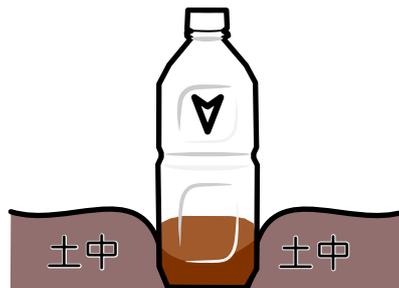
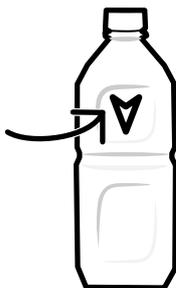
- △ なるべく屋外で使い捨て手袋を使用して作業してください。
- △ 木酢液の臭いが不快な人もいます。周囲に注意して使用してください。
- △ 子どもの手の届かない場所に置くなど、保管に注意してください。

軒下、床下などの雨があたりにくい場所には
木酢液（原液）を古布に染み込ませ、動物の通り道等に置く。



花壇や、芝生などの直接木酢液を使用できない場所には
500mlのペットボトルにカッターで穴をあけ、中に木酢液（原液）を入れる。雨水が入らないように蓋をして、動物の通り道に倒れないよう固定して置く。

ペットボトルにV字の切り込みを4箇所程度入れ、Vを外側に屋根を作るように折り返す。



塀や、ゴミステーションや生ごみを入れる袋には
100倍に薄めた木酢液を動物の通り道に毎日～1日おきに噴霧。
※ 原液や百倍希釈液は枯れる可能性があるため、植物に直接かけないでください。

500mlのペットボトルで100倍希釈液を作る場合
木酢液5ml（小さじ1）
に対し、水をペットボトルの9分目まで注ぐ

